

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

3-⑧

施策

安全でおいしい水を安定的に給水する

担当部局

水道局, 文化産業局



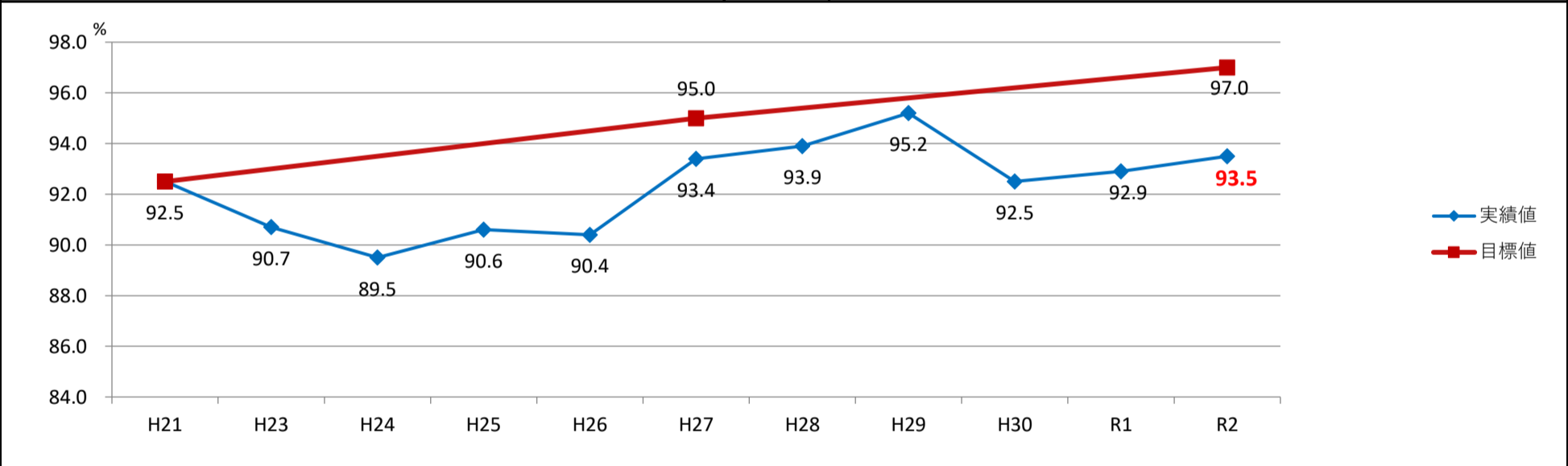
【安全・安心】 めざまちの姿 常に安全でおいしい水が届いている

市の基本方針

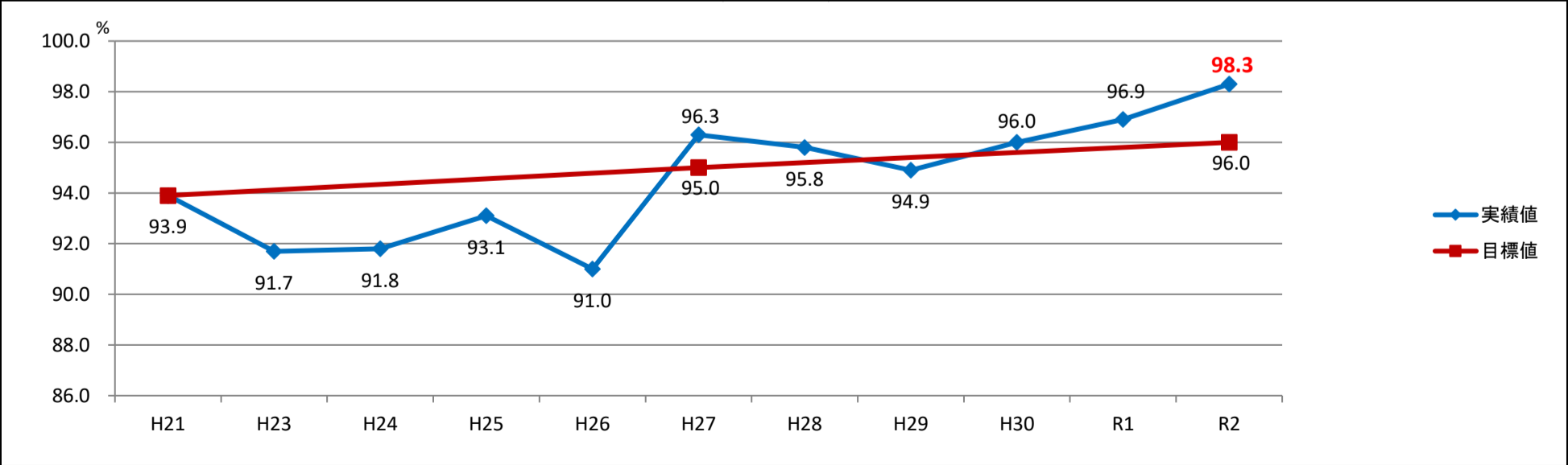
- 水道水の水質向上に努め、安全で快適な水道水の供給を通して、信頼される水道をめざします。
- 適正規模での施設運用に加え、早期復旧が可能となる災害に強い施設整備などを行い、十分な量の水道水を安定して供給します。
- 倉敷の水道を持続・発展させるため、水道施設や組織を健全な状態に保ち、財務体質を強化して、水道事業の健全経営を図ります。
- 公営企業の社会的責任を果たすため、民間事業者の育成や給水にかかわる環境対策を推進するなど、住み良い環境と豊かな地域づくりに資する取組を行います。

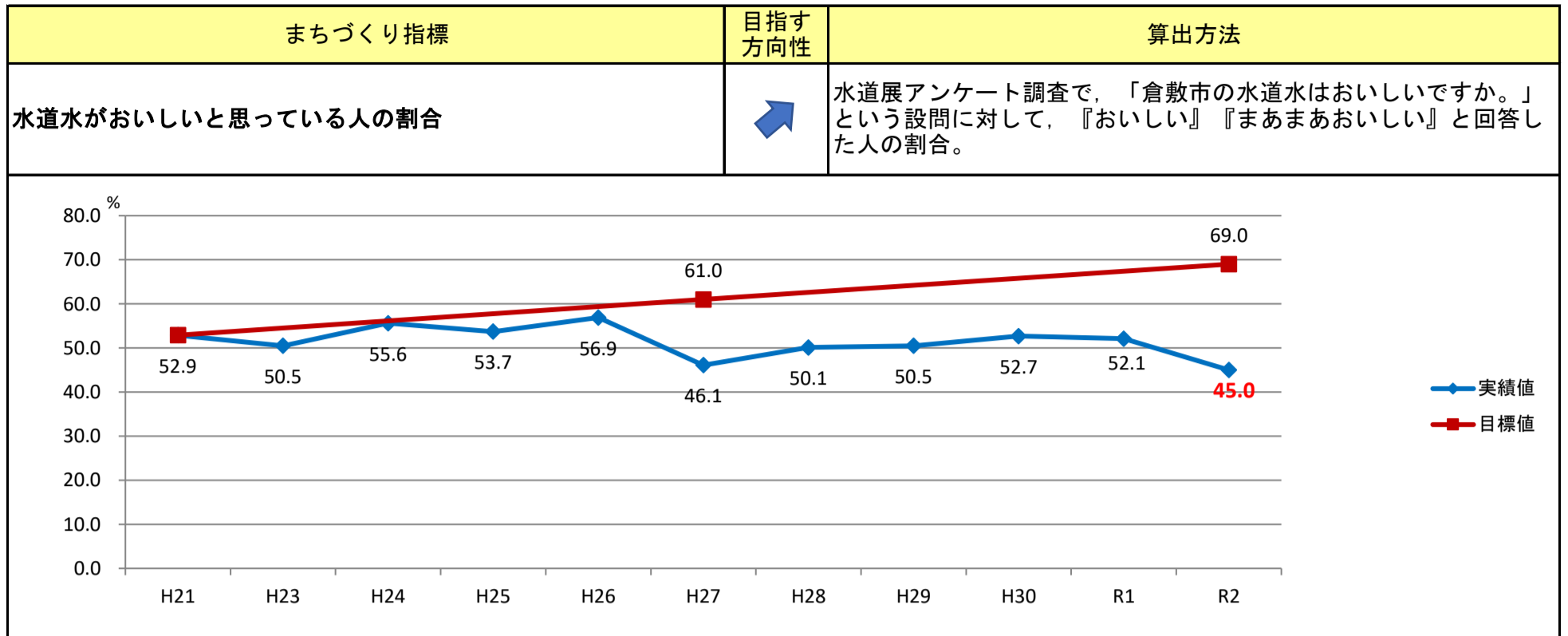
数値目標

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
節水を心掛けている人の割合	↑	水道展アンケート調査で、「日頃から水を大切にし、節水に心がけていますか。」という設問に対して、『よく心がけている』『時々心がけている』と回答した人の割合。

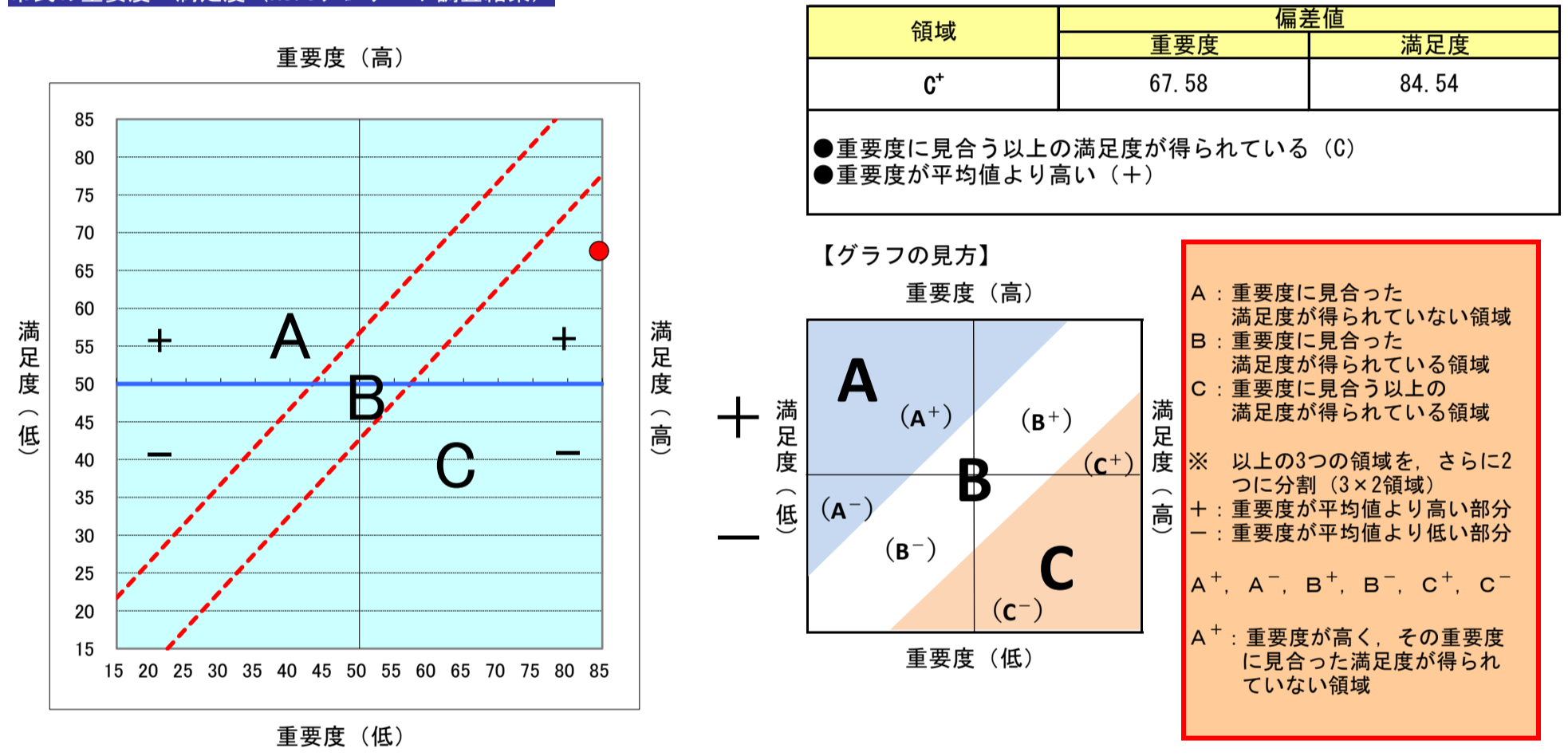


まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
水道水を飲料水として直接飲んでいる人の割合(直接飲用率)	↑	水道展アンケート調査で、「ご家庭ではどのようにして水道水を飲んでいますか。」という設問に対して、『そのまま飲んでいる』『冷やしたり、沸騰させたりして飲んでいる』『お茶やコーヒーなどで飲んでいる』『浄水器を利用して飲んでいる』と回答した人の割合。





市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的 (I) / 令和2年度の主な実績 (II) / 今後の方向性 (III)	R2年度決算額 (千円)
	水源水質監視体制の強化	(I) 適切な浄水処理を実施するため、水源水質の状況を把握する。 (II) 関係機関の協力を得、小田川合流地点付近の水質調査を実施するとともに、水道水の品質を阻害するカビ臭を低減させるため、高梁川上流域のカビ臭調査を定期的実施し、浄水工程で注入する活性炭量の調整を行った。 (III) 関係機関の協力を得、水源水質の状況把握を継続して実施する。	35,488
	水源林管理事業	(I) 水源林を健全な状態で維持し水源かん養機能を発揮させ、水資源を確保する。 (II) 計3カ所90.9haの水源林において、間伐、撫育等の保育・管理を行った。 (III) 森林の生育状況に応じた適切な管理が必要であり、継続して実施する。	4,282
	水道施設の耐震化の推進事業	(I) 水道施設の耐震化 (II) 配水管、基幹管路及びその他施設の更新や新設を計画的に実施し、令和2年度末時点で、基幹管路の耐震適合率は39.4%から40.5%へ、前年比1.1ポイント上昇した。 (III) 災害が発生した場合の影響が大きい管路及び施設から順次耐震化を継続して実施する。	3,087,495
	真備浄水場更新事業	(I) 施設の老朽化に伴う更新 (II) 現在地で更新する計画を検討していたが、将来的に新たな浄水処理方法への対応を考慮すると現有地では敷地面積が狭い為、別の場所へ移転する更新計画に方針転換した。 (III) 移転更新計画においては、安定的に取水できる適地を模索するとともに上成浄水場更新と併せて検討する。	-

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	流量監視システム構築事業	(Ⅰ) 水運用の分析, 及び災害・事故時の迅速な対応への活用 (Ⅱ) 流量監視路上局を, 計4ヶ所設置し水道GIS(地理情報システム)に情報を追加反映した。(倉敷地区2ヶ所, 玉島地区1ヶ所, 水島地区1ヶ所) (Ⅲ) 流量監視路上局を順次配備し, 水運用の分析, 及び災害・事故時の迅速な対応への活用を継続して実施する。	78,214
	水道料金等収納率の向上対策	(Ⅰ) 水道料金等の収納率向上 (Ⅱ) 督促, 催告, 給水停止等を実施し, 早期収納に努めた。しかしながら, 令和2年度末時点で収納率は96.61%と前年度比0.25ポイント低下した。(新型コロナウイルス感染症による料金支払猶予措置実施によるもの) (Ⅲ) 負担の公平性を図り, 安定的な給水収益を確保するため, 継続して実施する。	-